

山下地区

山下地区別計画推進策定委員会

地域 西八朔町、北八朔町、小山町、青砥町

緑区の北側に、恩田川と鶴見川に挟まれた形で東西に長く位置し、地区の北西側は青葉区、北側は都筑区に隣接しています。市街化調整区域が多い田園地帯で、丘陵地に市営住宅や戸建の住宅が並んでいます。

山下地域交流センターや山下みどり台小学校コミュニティハウスが活動の拠点となっています。また、特別養護老人ホームや介護老人保健施設などの福祉施設が多くあります。

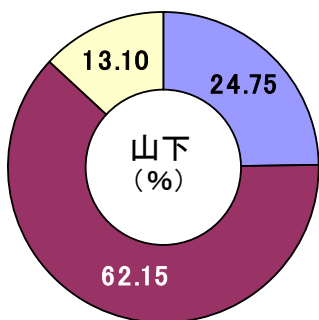
<主な関連施設>

最寄駅：中山駅（JR横浜線・横浜市営地下鉄グリーンライン）、青葉台駅、藤が丘駅（東急田園都市線）
 震災時避難場所（地域防災拠点）：山下小学校、山下みどり台小学校
 地域ケアプラザ等：横浜市中山地域ケアプラザ、地域包括支援センターふじ寿か園

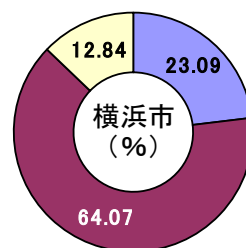
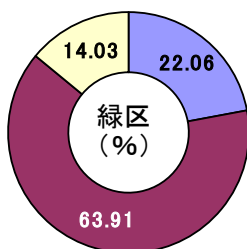
<年齢区分別人口>

平成27年(2015年)9月末

人口比



■高齢化率(65歳以上) ■生産年齢人口比率(15~64歳) □年少人口比率(0~14歳)



75歳~	2,109人
65~74歳	2,012人
15~64歳	10,348人
6~14歳	1,326人
0~5歳	855人
合計	16,650人

75歳~	17,774人
65~74歳	21,834人
15~64歳	114,752人
6~14歳	15,597人
0~5歳	9,603人
合計	179,560人

75歳~	397,977人
65~74歳	462,998人
15~64歳	2,388,957人
6~14歳	291,502人
0~5歳	187,470人
合計	3,728,904人

地区別計画推進策定委員会の開催

第1回

平成27年6月22日

19:00~21:00

山下地域交流センター

- 昨年度の振り返り
- 第3期計画素案の検討

通信No.9 発行

第2回

平成27年11月25日

19:00~20:30

山下地域交流センター

- 第2期計画5か年の振り返り
- 第3期計画の確定

通信No.10 発行

緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」平成27年度地区別計画推進状況



山下地区



もっともっと素敵な街
山下地区を目指します！

平成27年度の主な取り組み

山下地区では、「地域での『つながり』」、「必要な『情報』が入手しやすいまち」、「『防災・防犯』で安心・安全」の3つを目標として取り組みました。



(写真：北八朔上自治会「昼食会後の出張健康教室」の様子)

①地域での「つながり」

高齢者が気軽に集まり交流できる場として、「友愛サロン」や「ふれあい昼食会」、元気づくりステーション等の健康づくり活動などを継続して開催しました。また、青砥団地自治会では、「サロンなごやか」を10月からスタートしました。

② 必要な「情報」が入手しやすいまち

「連合自治会だより」の全戸配布、「地区社会福祉協議会広報誌『笑顔のたより』」の班回覧などを継続して行い、地域情報がより多くの人に届くよう努めました。

③ 「防災・防犯」で安心・安全

子どもの見守りと防犯活動を連携させ、地域全体で取り組めるよう検討しました。



(写真：「山下地区別計画推進策定委員会」の様子)

第3期計画がスタートします！

平成28年4月からは「みどりのわ・ささえ愛プラン」第3期計画がスタートします。

第3期計画では、現在の取組を継続するとともに、さらに充実させ、

健康で元気に暮らし続けられる山下地区

を目指します！

山下地区別計画推進策定委員会



山下地区別計画推進策定委員会
平成27年7月発行 No.9

山下地区別計画推進策定委員会通信

第3期計画に向けた話し合いを行いました！

平成27年6月22日（月）19時～山下地域交流センターにおいて、平成27年度第1回「山下地区別計画推進策定委員会」を開催しました。

当日は、山下地区のこれまでの取組みを振り返りつつ、28年度からスタートする第3期緑区地域福祉保健計画における「山下地区 地区別計画」の素案の検討を行いました。この通信では、検討されている素案の内容や今後のスケジュール、委員会での主な意見をご紹介します。

第3期山下地区別計画（平成28年度～32年度）【素案】

目標
1

地域での「つながり」を大切に、健康で元気に暮らし続けられるまちづくり

<具体的な取組（案）>

- 日常的な付き合いを大切に、あいさつで顔見知りを増やします。
- 体育祭やティーボールなど、子どもが参加できる活動が発見され、この機会をうまく活用して、よりコミュニケーションがとれるよう工夫します。
- 健康づくり活動（元気づくりステーションなど）を継続・充実させ、参加者同士のつながりを広げていきます。 など

目標
2

必要な「情報」が入手しやすいまちづくり

<具体的な取組（案）>

- 「山下連合自治会だより」の内容をさらに充実させて継続して発行します。各自治会の取組や子ども会の情報など、さまざまな情報を掲載して有効活用を図ります。
- 地区社会協議会の広報紙「笑顔のたより」の発行を継続します。全戸配布や発行回数の増加を検討し、より活動の周知を図ります。 など

目標
3

「防災・防犯」で安心・安全なまちづくり

<具体的な取組（案）>

- 「防災ささえあいカード」の情報を自治会長、消防団、民生委員・児童委員などで共有し、自治会全体で要援護者の把握に努め、有効に活用できるように検討していきます。
- デジタル簡易無線機を地域のイベントや行事等でも活用し、いざという時に使えるよう備えます。 など



【平成27年度 山下地区別計画推進策定委員】（平成27年6月22日現在）（50音順 敬称略）

□安部智恵、○荒谷孝道、井上和子、岡 全成、□神谷幹雄、小熊富美、河田早美、久米元夫、古田土勝雄、小柳新一、□佐藤こずえ、篠崎 慧、田中達也、谷井春夫、□中川洋一郎、仲原富士夫、□成島昭吾、堀内倭文子、本橋吾朗、□吉浜行彦、渡邊 鉄（○印：委員長、□印：新任）

第3期計画（平成28年度～平成32年度）策定に向け、素案をもとに現在の状況、課題、具体的な取組等について意見交換を行いました。その中から主なご意見をご紹介します。

委員会の様子▶



目標1【地域でのつながりを大切に、健康で元気に暮らし続けられるまちづくり】

- 山下地区には子どもがまだ多くいる。子どもたちを大切に育てるとともに、高齢化についても取り組んでいく必要がある。
- 高齢でも元気で運動できる人も多い。まずは広場など「場所づくり」が大切だ。健康づくりができる「広場」等を作ってほしい。
- 山下地区には農地がたくさんある。農家の方からも福祉目的のグラウンド等として活用できないかとの声もあった。活用できるような条例の制定などはできないか。



目標2【必要な情報が入手しやすいまちづくり】

- 「防災ささえあいカード」の情報は、単位自治会で要支援世帯の情報を把握し活用してほしい。
- 小山町では民生委員、家庭防災員、自治会（役員）の4者が「カード」の情報を共有することとした。カードは世帯の状況により、「第一優先」「第二優先」「第三優先」と整理している。また、民生委員・児童委員を中心として、友愛活動員と家庭防災員がリストをチェックしている。防災訓練時には、消防団がリストをチェックするために全家庭をまわっている。



目標3【「防災・防犯」で安心・安全なまちづくり】

- 素案について「現状と課題」の「課題」があまりみえない。防犯について地域課題でも、子どもの見守りや子どもの安全・安心という話があったので、課題として入れてはどうか。
- 高齢者の1人、2人世帯が増え、空家も増えている。家族が戻ってきてくれるような魅力あるまちづくりを考えてほしい。

●今回いただいた議論を活かし、第3期計画の最終案を次回お見せしていくことなどが確認されました。

今後のスケジュール



9～10月頃	素案公表・意見公募
11月頃	第2回地区別計画推進策定委員会 (第2期計画振り返り・第3期計画の確定)
3月	第3期計画の公表
4月	第3期計画スタート!

<連絡先> 山下地区別計画推進策定委員会事務局 TEL: 930-2282 (緑区税務課内)



山下地区別計画推進策定委員会
平成28年1月発行 No.10

山下地区別計画推進策定委員会通信

緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」

第3期山下地区別計画がまとまりました！

平成27年11月25日（水）19時から山下地域交流センターにおいて、平成27年度第2回「山下地区別計画推進策定委員会」を開催しました。

当日は、山下地区のこれまでの取組を振り返り、今年4月からスタートする第3期みどりのわ・ささえ愛プランにおける「山下地区別計画」の内容を確定しました。

この通信では、第3期計画の内容や今後のスケジュール、委員会での主な意見をご紹介します。



< 第3期山下地区別計画の概要 > (平成28年度～32年度)

目標
1

地域での「つながり」を大切に、健康で元気に暮らし続けられるまちづくり

< 具体的な取組 >

- ・ 日常的な付き合いを大切に、あいさつで顔見知りを増やす。
- ・ 体育祭やティーボールなどの機会を活用し多世代交流をはかる。
- ・ 健康づくり活動（元気づくりステーションなど）の継続・充実。 など

目標
2

必要な「情報」が入手しやすいまちづくり

< 具体的な取組 >

- ・ 「山下連合自治会だより」の充実・発行継続と有効活用の検討。
- ・ 地区社会福祉協議会の広報紙「笑顔のたより」の発行継続と、全戸配布等の検討。 など

目標
3

「防災・防犯」で安心・安全なまちづくり

< 具体的な取組 >

- ・ 「防災ささえあいカード」の情報を関係者間で共有し、活用方法を検討。
- ・ デジタル簡易無線機の活用場面を拡大、いざという時に使えるよう備える。 など

【平成27年度 山下地区別計画推進策定委員】（平成27年11月25日現在）（50音順 敬称略）（○印：委員長）

安部智恵、○荒谷孝道、井上和子、岡 全成、小熊富美、神谷幹雄、河田早美、久米元夫、古田土勝雄、小柳新一、篠崎 慧、田中達也、谷井春夫、中川洋一郎、仲原富士夫、成島昭吾、堀内倭文子、本橋吾朗、吉浜行彦、渡邊 鉄

第2期計画の取組を振り返るとともに、今後に向けての意見交換を行いました。主なご意見をご紹介します！

目標1【地域での「つながり」を大切にするまちづくり】

- ・青砥団地自治会で、高齢者を対象とした「サロンなごやか」を10月から開始しました。
- ・目標達成のためには、横のつながりが大切です。自治会でゴルフ好き10数名が集まり、グループをつくりました。元気に活動を続けるため、太極拳と防犯パトロールを始めたところ、30～40名に仲間が増えました。仲間が仲間を呼ぶのだと思います。
- ・山下地域交流センターで健康麻雀『やました脳トレ雀教室』が始まりました。高齢者が元気に活動できる良い取組だと思えます。
- ・閉じこもりがちな高齢者もいるため、山下連合自治会では山下地域交流センターと青砥町自治会館の2か所で、「ふれあいサロン」を開設予定です。(開設は3月を予定)



▲サロンなごやか (青砥団地自治会)

目標2【必要な「情報」が入手しやすいまちづくり】

- ・子育て世帯は、災害時などにはすぐに動けないと思えます。「防災ささえあいカード」(地域で災害時要援護者を把握するためのカード)の存在を、広く伝えていくことが大切です。
- ・「防災ささえあいカード」の近所とのつながりを記入できる「災害時に声かけをお願いしている方」の欄を大きくしてもらおうと民生委員も活用できると思えます。
- ・独居高齢者でなくても支援が必要と思われる方もいるので、「防災ささえあいカード」の更新の際にはPRしていきたいです。



▲防災ささえあいカード

目標3【「防災・防犯」で安心・安全なまちづくり】

- ・今後は、防犯と子どもの見守りを連携させ、地域全体で取り組む予定です。
- ・自治会館などに防犯カメラを設置し、防犯パトロールと併用すれば、防犯効果が高いと思えます。



▲子どもの見守り活動

今後のスケジュール



3月2日(水)開催の第34回緑区社会福祉大会(みどりアートパーク)で、山下地区の取組をパネルにより展示します!!

平成28年3月 第3期計画の公表
4月 第3期計画スタート!
6月頃 山下地区別計画推進策定委員会

<連絡先> 山下地区別計画推進策定委員会事務局 TEL: 930-2282 (緑区税務課内)